

## 5/4-10#46キリスト(王国を設立する方)と神の言(王の王、主の主):I.キリストは王国を設立する方

です:啓20:1 また私は、一人の御使いがアビスのかぎと大きな鎖を手を持って、天から下つて来るのを見た。2 彼はあの龍、すなわち悪魔でありサタンである太古の蛇を捕まえ、千年の間縛って。Aキリストは彼の敵と戦った後、地上における神の王国、すなわち千年王国を設立し、彼の勝利を得た信者たちと共に千年間、王として支配します。B全地は、神の王国が来るための準備として、一掃されなければなりません。Cただ一つのもので残っています。それはサタンであり、すべての問題の源です。D千年王国に関する章である啓示録第20章において最初に述べられている項目は、サタンを縛ることです:1主は十字架上でサタンを裁きましたが、その裁きはまだ完全には執行されていません。2主は戻って来るとき、十字架上でサタンに対して達成した裁きを完全に執行します。3サタンは縛られ、アビスの中へと投げ込まれ、行動したりだれかに損害を与えたりする力がなくなります。そのとき、地はキリストの王国となります。E聖書の予言によれば、千年王国には二つの部分があります。それは上の(天的)部分と、下の(地的)部分です:1千年王国の上の部分は父の王国と呼ばれ、下の部分は人の子の王国と呼ばれます。2メシアの王国、またはメシア王国は、千年王国の下の部分の別名です。F啓示録20:4~6は、王国を設立する方としてのキリストが勝利を得た聖徒たちと共に王として支配することを啓示しています:啓20:4 私はまた、いくつかの座を見た。そして人々がそれらに座しており、裁く権威が彼らに与えられた。...5これが第一の復活である。6第一の復活にあずかる者は、幸いであり、聖である。これらの人々に対して、第二の死は何の権威もない。彼らは神とキリストの祭司であり、千年の間、彼と共に王として支配する。1勝利者たちはイエス・キリストの王国をもたすので、主は千年間、王として支配します。そして、勝利者たちも千年間、キリストと共に王として支配します。2啓示録20:4は言います、「私は...いくつかの座を見た。そして人々がそれらに座しており、裁く権威が彼らに与えられた」:a「人々」という言葉は勝利者を指しています。b彼らは今や座に座しており、裁く権威が彼らに与えられています:1裁く権威を持つとは、王国を持つことを意味します。2啓示録20:4は、勝利者が王国を受けており、それを享受していることを示します。C勝利者は、イエスの人性が彼らの中へと造り込まれることによって、キリストと共に

王として支配するように資格づけられます。H勝利者は千年王国においてキリストと共に王として支配し、最上の復活を享受します:1啓示録20:6は「第一の復活」について語っています。2第一の復活は「格別な復活」、すなわち使徒パウロが追い求めた並外れた復活でもあります。I啓示録20:6前半は言います、「第一の復活にあずかる者は、幸いであり、聖である」。これは最高の祝福、すなわち地上に実現した王国を受け継ぐこと、また王国の中で王とさえなることであるに違いありません。J「彼らは神とキリストの祭司であり、千年の間、彼と共に王として支配する」(啓20:6後半)。千年王国で勝利者は、神と接触する祭司となり、キリストと共に諸国民を王として支配する共同の王となります。II.啓示録19:11~16と19~21で、キリストは神の言、すなわち王の王、主の主として啓示されています:啓19:11 また私は、天が開かれるのを見た。すると見よ、白い馬と、それに座している「忠信」と「真実」と呼ばれる方がおられた。彼は義の中で裁き、また戦う。12彼の目は火の炎であり、彼の頭には多くの王冠があった。彼には、ご自身のほかだれも知らない名が書かれている。13彼は血に浸された衣をまとっている。また、彼の名は神の言と呼ばれる。14そして天にある軍勢が白い馬に乗り、白くて清い細糸の亜麻布を着て彼に従った。15彼の口からは鋭い剣が突き出ており、彼はそれをもって諸国民を打つのである。彼は鉄の杖をもって彼らを牧養する。彼は全能者である神の激怒の憤りの酒ぶねを踏む。16彼はその衣にも、ももにも、「王の王、主の主」と書き記された名を帯びておられる。19私はまた、獣と地の王たちと彼らの軍勢とが結集して、馬に乗る方と彼の軍勢と戦うのを見た。20そして獣は捕らえられた。また彼の前でしを行ない、それによって、獣の印を受けた者や彼の像を拝んだ者を欺いた偽預言者も、捕らえられた。この二人は生きたまま、硫黄で燃える火の池の中へと投げ込まれた。21残りの者たちは、馬に乗る方の口から突き出た剣で殺された。そしてすべての鳥は、彼らの肉で満腹した。Aキリストは彼の婚宴の後、戦う将軍として、彼の花嫁、すなわち、彼の軍隊である勝利を得た信者たちと共に来て、反キリストと戦います。人は、主の主、王の王に逆らって直接戦いさえます:1反キリスト、偽預言者、十人の王とその軍隊は、小羊に逆らって戦います。2この戦いは、天に逆らう地の戦い、神に逆らう人の戦いです。3キリストの敵はますます邪悪になって、神に宣戦布告さえます。

4人が実際に神に宣戦布告することができたとは、実に驚くべきことです。5花婿であるキリストは、彼の花嫁と共に来て彼らと戦います。B「見よ、白い馬と、それに座している『忠信』と『真実』と呼ばれる方がおられた。彼は義の中で裁き、また戦う」(啓19:11):1「忠信と真実」は、キリストの称号となります。2キリストは、神と彼を信じる者たちの両方に忠信です。3彼はその忠信のゆえに、神に反対し信者を迫害する者たちを打ち破り、滅ぼします。4彼はまた、神のエコノミーを完成することと、彼を信じる者たちを顧みることにおいて真実です。Cキリストは神の忠信で真実な証人であり、白い馬に座し、義の中で裁き、戦います:1キリストは戻って来てサタンの不義の力と戦います。その力は今日この世において不法の奥義として働いており、不法の者である反キリストという結果となります。2テサロニケ2:8 その時、この不法の者は出現するでしょう(この者を、主イエスはご自身の口の息によって殺し、彼の来臨の出現によって滅ぼされます)。2全世界はサタンの不義の力の下にあります。3義の中でキリストは戻って来て、反キリストと彼のすべての仲間が行なった不義と戦います。4キリストは義の中で裁くだけでなく、義の中で戦います。彼は戦うことによって裁きます。D「彼の名は神の言と呼ばれる」(啓19:13後半):1これは、主ご自身が神の言であることを示しています。2主の名が神の言と呼ばれているのは、彼が神の表現、証し、語りかけであることを意味します。3神の言は、神の定義、説明、表現です。4神を知るために私たちは、神の言としてのキリストを読み、学び、見つめ、熟慮して、注視する必要があります。E啓示録第19章で、キリストは神の言として、反逆的な人々に神の裁きを執行することによって神のために語ります:1主は戦う時でさえ、神のために語って、神を表現します。2神は混乱の神ではありません。神は義であり、主権を持っています。彼はまた秩序の神であり、そのような方として彼は無秩序と反逆を容認することができません。3キリストは敵と戦うとき、神が主権を持っており、義であり、秩序正しいということを語ります。4神はすべての人を支配する神であり、神の権威に対する反逆を容認しないことを、キリストは宣言します。5戦う方は御言です。彼が戦うことは、神の言を語ることです。6主がハルマゲドンでの戦いにおいて戦うことは、力強い語りかけとなります:aそれは、サタン、反キリスト、偽預言者、全宇宙に対して、神が主権を持っており、だれも彼に反逆することができないと告げます。b秩序の神は、すべての反逆を一掃し

ます。III.キリストは地を所有した後、王国の中で地を王として支配し、彼の勝利を得た信者と共に諸国民を支配します:A彼は来たるべき王として、千年期における神の来たるべき王国でかしま中心となります。Bこれはイザヤ32:1、エレミヤ23:5、ゼカリヤ14:9と17の成就となります。イザヤ32:1 見よ、ひとりの王が義によって治め、支配者たちは公正によって支配する。エレミヤ23:5 見よ、その日々が来ようとしていると、エホバは告げられる。その時、私はダビデのために義なる若枝を起す。彼は王として治め、思慮深く行動し、公正と義をこの地に行なう。ゼカリヤ14:9こうして、エホバは全地の王となられる。その日には、エホバはただひとり神であって、彼の御名もただ一つの名である。17 地の諸族のうち、エルサレムへ上って行って王、万軍のエホバを礼拝しない者には、彼らの上に雨が降らない。Cキリストは地とそのすべての民を贖って、王国の範囲と構成要素としました。彼はすべてを売り払って王国を買いました。彼は地とそのすべての民を、サタンの強奪から救い出しました。D彼は、復興された地と復興された諸国民との王となる完全な権利を持ちます。E彼の来たるべき統治において、神の権威と栄光は完全に現されます。そして全地とその住民は、義、平和、喜び、神の創造の満ち満ちた祝福の中へともたらされます。証アウトライン。G「勝利者は、イエスの人性が彼らの中へと造り込まれることによって、キリストと共に王として支配するように資格づけられます」。唯一の正しい人であるキリストは、イエスの霊として私たちの霊の中に住んでおられます。すべての正しい人性の美德を持つそのような方は、私たちの中で私たちの人性となられます。私たちは彼の人性を持つとき、サタンを辱め、神の王国となります(新約の結論#427)。コロサイ3:12 こういうわけで、神に選ばれた者、聖なる愛されている者として、思いやりの心、慈愛、謙そん、柔和、辛抱強さを着なさい。ある青年が、最近集会に来られなくなった時、その両親や奉仕者から相談を受けました。この時、私はその両親や子供の立場に立って、まず彼らの状況を主の御前に持ち出し、時間をかけて主と交わりました。そうすると、その青年に対する主の思いやりに触れ、照らされたので、私は、思いやりの無い自分の罪を告白しました。そして、私はイエスの人性を持って、とりなしの祈りを行うことができました。その後、問題のある聖徒を訪問することができました。イエスの人性が私の中に造り込まれなければ、私は破壊するだけで、牧養することはできないと感じます。